

横浜市港南地区センター 指定管理者選定委員会（第2回委員会）議事録要旨	
開催日時	平成27年8月4日（火） 9時30分から11時30分まで
開催場所	区役所別棟301会議室
出席者	藤崎委員長（横浜市立大学准教授） 井出委員（永谷連合町内会副会長） 小野委員（港南区「街の先生」の会会長） 嶋田委員（港南区スポーツ推進委員連絡協議会会長） 新委員（東京地方税理士会横浜南支部税理士） ※肩書は、委嘱当時のものになります。
傍聴者	2名
議題	横浜市港南地区センターの指定管理者の選定について 1 面接審査 2 審議
面接審査 及び 審議	1 面接審査 1 団体あたり、10分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次のとおり。 <スターツファシリティサービス株式会社> ・地域住民と育む「地域コミュニティー、文化、スポーツ、福祉向上」の場づくりを基本方針として設定。 ・地域防犯パトロールの実施や地域NPOと連携したイベントの開催、サークルや幼稚園等の発表の場の提供。 ・こどもの居場所の確保に関する事業や無料教室（子供の貧困対策）を実施する計画。 ・居場所には、余暇コーナーや会議室を「学習室」として空いている時間に確保。 ・防犯パトロールは、自治会、警察署等と相談し周辺地域を巡回する。 ・利用者アンケートや意見箱、ホームページなど多様な方法で利用者ニーズを把握し、サービス改善に反映。 <一般社団法人 こうなん区民利用施設協会> ・勤務体制については、スタッフ交代時に15分の引き継ぎ時間を設け、伝達事項や供すべき事項に漏れを生じさせない。 ・個人情報に関しては、厳格な取り扱いを行う。 ・緊急事態が発生時には、区からの指示、連携のもと迅速に対応。 ・協働カフェやプレゼンテーションフォーラムの開催、居場所づくりボランティアの育成等の取り組みをとおして、地域協働活動支援。 ・高齢者や障害者などすべての利用者に対し公平でより良いサービスの提供に努め、ユニバーサルサービスを提供。 ・図書の有料宅配サービスの実施。 ・利用者数については、今後毎年4%の上昇を目標。 ・メールマガジンの導入により、積極的にイベント情報の提供や施設のPRに取り組む。

	<p>2 審議</p> <p>横浜市港南地区センターの指定管理者を選定するにあたり、第1回選定委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、一般社団法人こうなん区民利用施設協会を指定候補者として選定し、スターツファシリティサービス株式会社を次点候補者とした。</p> <p><委員の主な意見></p> <p>(1) スターツファシリティサービス株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元に着し、新規に参入しようとする意欲はよく伝わってきた。 ・子どもの貧困対策への着目や居場所の提供は評価できる。しかし個人情報保護に関する検討が足りないように思われる。 ・提案内容は具体性に欠ける点があり、運営の際に地域性が理解できるのか疑問が残る。地域の現状についての評価分析をより深めて欲しかった。 ・ホームページでの情報発信に力を入れていく点は評価できる部分もあるが、情報発信や受付に対しややネットに重点が行き過ぎるきらいがある。 ・提案のなかで、高齢者に対する対応や内容が薄いように思われる。 ・財務状況については、親会社の影響がどの程度あるか分からないが、今回の書類を見る限りでは問題はない。 <p>(2) 一般社団法人こうなん区民利用施設協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PDCA サイクルが運営に良く反映されている。 ・運営実績を踏まえた具体的提案があり、分かりやすい。 ・施設間の連携が図られて課題が共有されている。 ・立地条件の良さを生かしていこうとするところに意欲を感じる。 ・小学生の社会科見学の受け入れは良い事業。 ・20年の実績に裏打ちされた安定感がある。 ・自主事業の回数は多いが、連続した事業は少ないので改善が必要。 ・実績による具体的な提案が出されているのは良いが、真新しいものがないので、改善していく必要がある。 ・財務状況については、問題のない法人であるが、財務書類の作成管理体制に課題がある。
審議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人こうなん区民利用施設協会を横浜市港南地区センター指定管理者の指定候補者とする（602点/750点）。 ・スターツファシリティサービス株式会社を次点候補者とする（517点/725点）。
特記事項	